

なきごえ



1973

12

大 阪 市
天王寺動物園協会

動物と私

三 栖 和 子

あれは、小学校4年生の時だったと思う。学校から動物園に写生に出かけた。自由解散になって、一番最初に走り寄ったところが、お猿のもとである。クレパスを手にしたものの、動くことはなはだしく、とうとう諦めて、しばしウロウロ。やっと座り込んだところが、ライオンの前であった。雄大な姿に見惚れ、動きの少いことに魅力を感じ、クレパスを走らせた。ライオンと私との静かな時間!! どれ位のときが過ぎたであろうか。ライオンと目がふれあううちに、雄大ながらも優しい眼差しに、絵のことなど忘れ、語りかける如き彼と、ときをすごしてしまった。勿論、絵は落選であったが、その時のライオンの姿は、深く私の胸の中に今も残っている。その時から、動物と私との信頼感と愛情の深まりが、はじまったのである。

さて、我が家には現在、文鳥君が多数一緒に住んでいる。いずれも、二代目、三代目で、親馬鹿と云うか、何というか、訪れる人がある度に披露し、ほめられると、嬉しくて、色々話をはずませる。彼たちはいずれも各自?名前があるが、家族同様、時間を定めて、家中放し飼いをしている。ところが帰る家(とりかご)は間違いなく、キッチンと自分のところに帰る。音楽は大好きであり、子守歌をうたうと、手の中にすぐ入ってくる鳥がいる。彼はカメと名付けている。何故なら甘党のかめ山の上ののっている砂糖の様な姿であるから。それぞれ年令別に籠に入っているが、ここで一家族を紹介しよう。現在、夫婦とひとりっ子がいるが、彼女は、二度目の結婚であり、先生はお風呂(水浴)が大好きであった。二度目の夫君も、これ又、大好きで、1日に、何回となく水をとりかえてやる。ところが、いつも夫君が先で次にこども、最後に、妻が入っている。

現在の若き世代の方々には通じないかも知れないが、なるほどなあ……と教えられる。又友情も深く、数羽、階下から、階上に遊びに上る途中で一羽でも



階段の途中で迷うと、先に上った方が階上から、鳴き声高く誘導している。又ある時は巣ごもりの準備をするのか、チリ紙一枚を夫君が、くわえて我が家にとび、かごの上から、中にいる愛妻にわたすと、かごの中から、ひっぱり入れるという共同作業をして、生れてくる子どものために涙ぐましい努力をし準備をしている。

自己中心になり、人情を忘れ勝ちの人間様の世代に、教えられることが多くある。

現在、私は、幼児の保育に、たづさわっているが、ある日、園の庭にこぼれていたえさを一羽の鳩がたべに来た。それを見ていた園児が、追いかけて遊ぼうとしたが、すぐに飛んでしまった。そこで、どうして鳩が、とんでいってしまったのか話合ってみた。子どもたちは、どうしても鳩と仲よしになりたいと、意見一致、鳩を理解させながら、餌をやらせた。鳩との信頼感を深めていくうちに、現在では、毎朝園児が各自餌を手へのせ、それをたべにくる迄の仲になった。そしてポッポちゃんと名付けてもらい、彼たちと園児たちは1日を共に過ごしている。十七、八羽がグループをなして屋根に生活しているが、青空をグループでとび立っていく姿をみて、園児たちが、「気をつけていってらっしゃい」と声をかけ、日増しにお互いの愛が深まっている。

幼児達は動物を知ることによって、愛情を感じ、動物に直接ふれることを喜び生きものによる愛情、生命の尊さを知り、豊かな人間性が育っていくが私は、この子どもたちが、最初は警戒していたポッポたちと、現在は信頼感のあるふれあいをするを大切に、豊かな人間に育ってくれることを心から願って、今日も子どもたちに囲まれて張切っている。

(大阪市立生野保育所長)

表紙の写真説明

“キツネ”

冬の間はいい毛づやになってあたたかそう。いつも2匹で日なたぼっこ。同居中のキタキツネ(北海道産)とはちょっと仲が悪そう。

なきごえ12月号もくじ

動物と私	2
クロヒョウ	3
動物園グラフ	4・5
今年の動物園の話題	6・7
小鳥の飼い方(スリエで飼う洋鳥)	8・9
小学生の動物観察	10
動物園ニュース	11



“クロヒョウ”

5月に生まれたクロヒョウの赤ちゃんもこんなに大きくなりました。

真黒の身体に目だけが光ってさすがに夜の密林の王者の風格があります。

動物園グラフ

“寒波倒来”

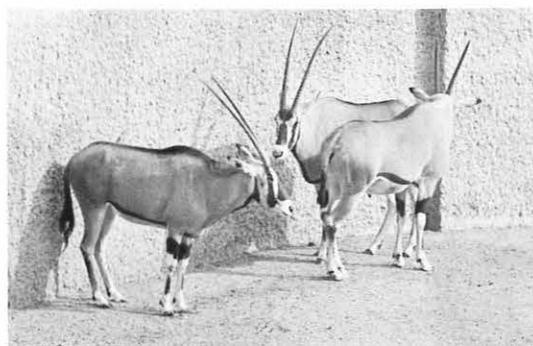
寒い冬が大きいなのは人間も動物も同じこと。大部分の動物が暑い国から来ている動物園では無事に冬をすごさせたいと懸命になっています。動物たちは日中は、運動場で日なたぼっこを楽しんでいます。



↑マイッタ、マイッタ。
この寒いのに運動場で朝食なんて！
暖かい寝室から出されて不満顔のオランウータン。



↑ ライオン
みんな大阪生まれの大阪育ちなので冬も平ちゃら。とはいうものの、やはり寒そうな顔々。



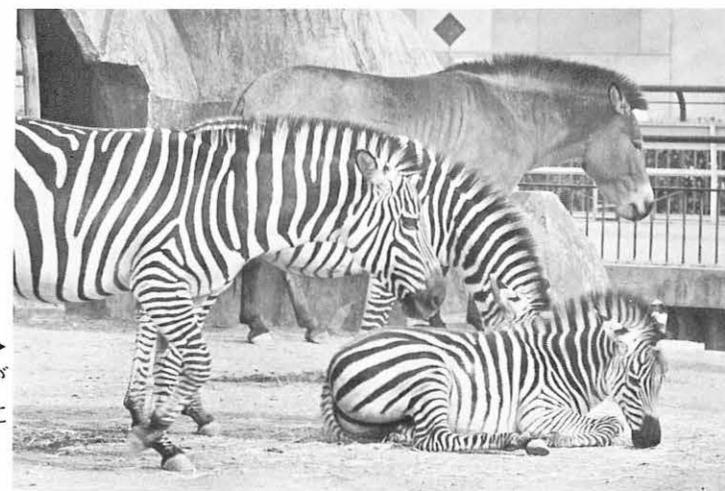
← 日だまりを求めて
オリックスの一家



↑よりそって日だまりに
一線に並ぶ、アグーチ。



冷い屋外プールは敬遠。
日なたぼっこを楽しむカバ。
夜は屋内の温水プールで一夜をすごす。



→ 暖房なんて全然なし。お日さまだけが頼りなのよ！園内は客もまばらたまにのんびりするのもいいものよ。

11月の動物園日記

- 10/31. シロクマのオス（推定2才）1頭が入園しました。まだ仔グマで、元気一杯です。
- 11/2. オオミズナギドリが3羽保護のために持込まれました。アジと栄養剤をさし餌しています。
- 3. 入園したばかりのシロクマの検便を行いました。回虫がたくさん寄生していたので、駆虫をすることにしました。
- 4. ゾウガメの目方を当てよう!!のクイズで、実

際に目方を測りました。48.5kgありました。

- 8. ジャッカルの子がオスに咬まれたため、分離収容し治療しています。
- 9. エゾシカの一番大きなオスが死にました。オリックスのオスとけんかをして角で突かれたためです。
- 11. タヌキが車にはねられて保護されてきました。骨折していたので手術を行いました。
- 14. マンドリルのメスが老衰で死にました。
- 15. 今まで持込まれて来て、保護していた12羽のオオミズナギドリのうち、元気で体力のある

- 9羽を沖縄の子供の国に空輸し、同園から南の空に放してもらうことにしました。
- 16. シロクマのメス（推定2才）が入園しました。
- 17. パクの子が脱肛をおこし治療していました。マレーグマの瓜が伸びすぎたので、麻酔銃を使って眠らせ、瓜切りをしました。ニホンシカのオス1頭を、宝塚動物園のオス1頭と血液更新のため交換しました。
- 19. ダマシカとニホンシカをそれぞれ新しいシカ舎へ移動しました。

- 20. エチオピアライオンが赤ちゃんを流産してしまいました。きっと急な寒波に体をこわしたためでしょう。
- 24. クロサイが交尾しました。
- 26. ジェンツーペンギン1羽が、食欲元気がなくなり、手当をしてやりましたが、死にました。ひどい気のう炎でした。
- 27. 老令のエミューが、寒さで元気がなくなったので暖めたり、好物のブドウやミカンなどを与えています。
- 29. ニホンザルの若雄が、衰弱して死にました。

今年の動物園の話題

1月 トラが元旦の朝2頭生まれました。おす、めすの赤ちゃんで来年のエトに先がけて大変めでたいと飼育一同大いに気をよくしました。ところが、いいことばかりではありません。前年の9月に生まれたキリンの赤ちゃんは、年の暮れ頃よりあごの下が腫れだし、元気がなくなりつつ立つことが多くなりました。薬を餌にまぜたりして正月1週間くらいはもち直していましたが、13日になって急に悪くなり、手当のかいなくついに死んでしまいました。大学で病理解剖してもらおうと、舌の中や鼻の中のできた化膿が原因でした。同じころサイのおすが尿が極端に少なくなり後足がつって歩きにくそうにするようになりました。どうも変だと思っているうち、食欲も元気がなくなりましたので、利尿剤を注射したり、薬を飲ませたり、獣医と飼育係と交代の徹夜の看病が約1週間続きました。1週間ほどたったある夜、うす暗い寝室に小便の音がジャー、ジャーとして、みると床に流れができてのを見たときはほっとしたものでした。それからは、ずんずん良くなり食欲もでてきました。おそらくサイの小便が後へビューと遠くへとばすのは健康な証候のようです。

2月 万国博のときにインドから寄贈されたインドゾウに新しい寝ごやが完成し、移しました。これまであちこちの動物舎を間借りしていましたがやっと落ちつけたわけです。しかし、ユリ子という大きいゾウがいじわるで鼻で乱暴するので、分けています。早く3頭一しょになるのが願いです。

3月 ジャッカルの赤ちゃんが5頭生まれました。初産だったのと寒さもまだきびしかったので人工哺育することにしました。担当の飼育係はトラやライオンの人工哺育の経験が豊富だったのでうまく成育しました。チンパンジーの子どもが入園しました。次の動物園

のスターに育てようと調教することにしました。

4月 ダマシカ1番がお目見得しました。これは、大阪市とサンフランシスコ市との姉妹都市提携15周年を記念したもので、盛大な歓迎の式を行いました。あすは入園のときにすでに妊娠していたらしく、6月22日におすの赤ちゃんを産みました。しかし、何か落ちつかず、哺乳も充分しているようではありません。しかし、よく注意しながら、そっとしておくことと赤ちゃんも夜の間に飲んでいられるらしく、育っていききました。ほっと一安心したのも東の間、約1カ月後母親がボックリ死んでしまいました。妊娠中の環境の変化や、日本の猛暑も一因になっていたのでしょうか。

韓国の昌慶苑動物園と動物交換の話がまとまり、キョン2頭を飛行機で送りました。この返礼として、6月23日、ヌクテのおすが入園し、以前よりいるめすとめでたく夫婦になりました。

シュバシコウが続々とふ化しました。このうち、1羽を人工育芻しましたが失敗し、自然育芻の6羽が成育し、巣立ちしました。

5月 キューバフラミンゴが昨年に続いて自然ふ化し、3羽が巣立ちしました。泥池の回りに特異な型の泥の巣をつぎつぎにつくり、ヨーロッパフラミンゴ、チリーフラミンゴまでつられて？産卵しましたが、この2種は無精卵かふ化しませんでした。しかし、来年もまた楽しみです。

子供の日は、好天にも恵まれ開園以来最高の22万人もの入園者がありました。恒例のぞうの目方を計る会も行なわれ市長も来園し、多くの子供たちに、子供動物園の建設を約束されました。

沖縄復帰1周年を記念してシュバシコウ1番を贈りました。

インドヒョウやクロヒョウが続けて生まれました。

6月 フタコブラクダの赤ちゃんが生まれました。

クロエリハクチョウがふ化しました。この鳥は、これまでも産卵したことがありましたがいずれもふ化までに至らず残念がらせていました。これで、この美しい鳥もどんどんふえていくでしょう。

トラとライオンの放飼場の改修ができましたので久しぶりに外の運動場に出てのびのびしているようでした。

7月 七夕の日にシマウマの赤ちゃんが生まれました。シマウマは昨年6月1日に生まれていますので、シマウマの家族も大変賑やかになりました。エランドにも赤ちゃんが生まれました。これは、みさき公園からきためすで、お腹に入ってきたものでラッキーでした。

クロサイの母子と、おすとをはじめて同居させました。大したトラブルもなくホッとさせました。

8月 今年の夏は大変な猛暑でしたが、幸い動物への影響は少なかったようです。

1年前から当園で保護預りとなっていたオランウータンが税関の許可があり当園に入籍されました。これで、おす1、めす3になり今後赤ちゃんも大いに期待されます。

オリックスの離産があり、麻酔銃を使って引っぱり出したところ、奇型の赤ちゃんですすでに死んでいました。母親は、元気になりました。

9月 カンムリヅルが高い巣の上で産卵し、卵をあたためていたのがふ化し、人工育芻しました。2羽のうち、1羽が元気に成育しています。国際園長連盟の一行が来園したときには人気を集めました。

10月 ボイラーの火入れをして冬仕度に入りました。今年は急に寒くなりどうも寒い冬になりそうです。イワトビペンギン2羽が足の裏にまめを作って治療してやりました。がうち1羽は悪化する一方でした。今年はどうもペンギンの調子が悪く、ジエンツープンギンも気のう炎や、腎炎で死んでいます。フンボ

ルトペンギンもふ化するのに1~2週間のうちに死んでしまいどうも今年問題になったPCBが主食のアジから入ったのではないかと疑ってしまいました。

11月 夏の間に入園したシロクマが相ついで死んだあと、子どものシロクマ、おすめすが相ついで入園しました。こんどは時期もよく食欲も旺盛で元気に育つでしょう。まだ同居していませんが、年明けには同居させたいとはりきっています。

今年もオオミズナギドリが府下の各地からどんどん届けられ動物園で養生させました。元気になったのを沖縄まで空輸し、放鳥してもらいました。

国際園長連盟総会の一行が来園し、2時間ほどゆっくり園内を見学されました。ちょうどサイの交尾に出くわし、思わぬ歓迎ぶりにみんな釘づけになり、スケジュールも狂うほどでした。また、日本に1羽しかないキーウィを見ていただき鳴き声もテープで聞き一同満足そうでした。

12月 この夏頃からエチオピアとの親善動物交換の話が進んでいましたが、やっと、オナガドリが発売しました。エチオピアがこの夏は干ばつで200万人もの人々が飢えているなどいろいろな事情でなかなか実現しなかったものです。11月29日に出発というときになってまた、飛行機の都合で延期になり、12月13日になったものです。エチオピアから贈られてくるという、クロシロコバも来年におあづけということになっています。

石油危機のおりから動物園でも電気・重油などの節減を迫られています。さらにまた、諸物価高騰のため、飼料も大幅に値上がりしていますので、台所も大変苦しく、動物たちも大変な冬になりそうです。

(樽本 勲)

「小鳥の飼い方」連載

スリエで飼う洋鳥 大川 光 雄

キュウカンチョウ

キュウカンチョウは、26～28cm大の鳥で、全身黒色で紫色の光沢のある鳥です。ただ翼の所に白色部と、顔からくびの後方にかけて黄色の肉質部があります。原産地は、インド、ビルマ、中国南部です。

キュウカンチョウには二種あり、オオミミキュウカンチョウとって、顔からくびの後方にかかっている黄色の肉質部が大きいのがいます。これの原産地は、マレー半島、ジャワなど、両種とも物まねをしますが、前種の方が上手です。

キュウカンチョウの餌は、スリエの3分のものをあたえますが、最近キュウカンチョウの固型飼料（キュウカンフード）が市販されていますからこれを与える方が便利です。

コウライウグイス

コウライウグイスは、全長26cm位の鳥で、雄は全身あざやかな黄色で目から後頭部に黒条があり、翼、尾などが黒い。雌は雄にくらべると全体に黄緑色をしている。原産地は中国南部です。

コウライウグイスの餌は、スリエ4分が適当ですが、餌になれたのを見はからって3分位におとした方がいいようです。

ベニフウキンチョウ

ベニフウキンチョウは18～19cm大の鳥で、雄の羽色は全身深紅色で、翼と尾とが黒の羽毛です。雄の羽色も美しいのは繁殖期だけで、繁殖期がすぎると雌と同じく背面が緑色をして腹面は黄緑色になります。原産地は中央アメリカです。



ベニフウキンチョウの餌は、スリエの4分を与えますが、ほかにカナリーシードかエゴマ少々その他、バナナ、リンゴ、オレンジなどと一緒に虫類も与えます。この鳥の飼育に際してはエサに変化を与えることが長命につながる秘訣です。主食はスリエです。

ソウシチョウ

ソウシチョウは、15cm位の鳥で、背面はオリーブ黄色、胸はオレンジ色、腹面は灰褐色、くちばしと翼の所にオレンジ赤色がある。雌は雄にくらべると全体に緑色をしている。原産地は中国南部です。

ソウシチョウの餌は、スリエの5分を主食として与えますが、普通のフィンチ用の餌も副食として与えてください。ほかにミールワームや果実などを与えてください。

アカハラシキチョウ

アカハラシキチョウは、大きさが15cm位の鳥です。雄の羽色は頭、背、のど、上胸部は光沢のある黒色で腹面は暗赤色をしておりくちばしは黒い。雌は雄にくらべると、雄の黒色部が暗灰色で腹面は黄褐色をしている。原産地はインド、インドシナ。

アカハラシキチョウの餌は4分～5分のスリエが主

食ですが、ほかにソウシチョウと同じようなものを与えて下さい。

ルリコノハドリ

ルリコノハドリは、大きさが23cm～24cm位の鳥で、雄の羽色は青と黒の美しい色をしています。雌は頭上から肩、背、腰にかけて光沢のある青色で、顔と翼、尾は黒色です。雌は全体に緑青色をしていて翼が褐色をしています。原産地はインド、ボルネオ、フィリピンです。この鳥のエサはスリエの4～5分を主食として与え、別に果実特にバナナなどを与えるようにして下さい。

コウラン

コウランは、大きさが19～20cmの鳥で、背面は灰褐色、腹面は白く、翼と尾は暗褐色、下尾は赤く、目の下にも赤い斑があり頭は黒く羽冠がついています。原産地は、インド、中国南部。餌はスリエの4分が主食でほかにリンゴなどの果実など与えます。

コウカンチョウ

コウカンチョウは、大きさ18cm位の鳥で、頭部はあざやかな紅色をして、背は灰色です。原産地は、ブラジル、ボリビアです。雄、雌とも同色ですが、雌の方が紅色が薄いようです。餌は4～5分のスリエかフィンチ用の餌でもいけます。

ショウジョウコウカンチョウ

ショウジョウコウカンチョウは、大きさ19～22cm位の鳥で、コウカンチョウによく似ていますが遠い血縁です。雄の羽色は深紅で、頭の上には羽冠があります。顔からあごにかけて黒色の羽色です。雌は雄にくらべると羽色は黄褐色ですが、翼と尾は赤色

をしています。原産地は、アメリカ東部、南部、メキシコです。餌はコウカンチョウと同じですが、虫類を与えてください。

コウカンチョウとショウジョウコウカンは、屋外禽舎で植込みを設ければ巣引もできます。この場合半露天式がいいようです。ヒナがふ化しますと虫類を多く与えるようにして下さい。

☆ここにあげた種類の鳥は最近日本によく輸入されていますから、小鳥店にでもたのんでおけば、入手できるはずですが、ここにあげた鳥は鳴声もよく、姿も美しく丈夫な鳥です。

ここにあげた鳥を飼う場合鳥の大きさによって、カゴをえらんでください。スリエの餌ですと、夏期に多い事ですが腐敗することがありますから、午前、午後にかけて与えてください。水も毎日入れかえてください。ここにあげた鳥たちは、水浴が好きですから、水浴用の容器も入れてやってください。

キュウカンチョウ、コウライウグイス、コノハドリ、は、大きいのでカゴの上から、ジョロで水をかけてやってください。スリエ鳥は毎日カゴを水洗して、清潔にしてください。 (動物園飼育係)

小学生の動物観察

じゅうしまつ

大阪市立桃陽小学校 2年1組
老田 政以子

わたしのうちに、じゅうしまつが二匹いました。けれども、めすが赤ちゃんを生んだので、五匹にふえました。はじめは、赤ちゃんのじゅうしまつは、目が大きくてはねがはえていなかったで、気持ちが悪くて、兎ようともしませんでした。けれどもだんだん大きくなるにつれてはねがでてきて、かわいいなあと思うようになりました。

わたしの文鳥

大阪市立桃陽小学校 2ねん
いいだ やすこ

わたしのいえには、さくら文鳥と白文鳥の二匹います。はじめは、さくら文鳥のおすとめすがいましためすが、いじわるばかりしておすをいじめるのでかわいそうになって、ステーションのことりやさんにもっていきました。おじさんが「これはてのりですね」といって、かごにいれようとする、ステーションビルのうりばの方へにげていってしまいました。わたしとおかあさんであちらこちらさがしましたがみつかりません。

小鳥のすきな人にひろわれたらいいのになと思いました。わたしは、ひなからそだてたかったので、白文鳥のひなを二匹かかってかえりました。ピーピーとやかましいけれど、おなかいっぱいになると、わたしの手の中でねます。えさもじぶんで少しは食べるようになってかわいくなったのにわたしのえさのやりかたがわるかったのかのどをついてしんできました。かわいそうでなみだができそうになりました。もう一匹きはさみしがっておなかをすかしてしました。もう一匹きはかってかえったとき

わたしのうちは五人かぞくです。ちょうどじゅうしまつも五匹いるので、おとうさんどりはおとうさん、おかあさんどりはおかあさん、きょうだいの中で一番大きそうに見えたとりは、大きいおねえちゃん、中ぐらいのとりは小さいおねえちゃん、そして一番小さいとりはわたしというふうにきめました。

今では、赤ちゃんだったじゅうしまつも大きくなって、どれがどのとりだったかわからなくなりました。

から元気がなくてしました。三びきともおなじおはかにうめてやりました。かわいそうで、もうひなをかうのはあきらめました。おたんじょう日に大きい白文鳥をプレゼントしてもらうことにやくそくしました。今日はせんきよの日です。おかあさんが出かけようとする、おはたと鳥のはばたく音がしたのです。すずめがはいってきたと思ってよくみると、白く大きい文鳥です。わたしはびっくりしました。おかあさんはいそいで入口のとをしめるしわたしはどきどきして、まどをぜんぶいそいでしめました。文鳥はおどろいてばたばたとんでつくえの上の上、ちきゅうぎの上にとまりかけたりしましたがわたしが手を出すとパッととまって首をかしげました。

「どこからきたの」ときくとピーヨピーヨチチチチとよいこえでなきます。かたや手やあたまにとまってとてもなれています。もうわたしはうれしくて、ひな文鳥が生れかわってきたのかと思ったくらいです。夏休みになってはねがぬけかわり赤はだかになりました。せなかに少しねずみいろのはねものこってましたがこんどはきれいなまっ白いはねにはえかわりとくいな声でさえずっています。

従来の剝製イメージを
一掃!!



★各界注目の研究グループ! (TV出演)

はくせいアート

株式会社 スガワ製作所
TEL 992-6497



グラウンド乾燥のパイオニア登場!!

どんな雨あがりでもすぐ試合、練習OK!!

10分でグラウンド、コートがカラッとします。

Hi-Dri ハイドライは独得の強力吸湿性と
ザックリした感触で

雨後のグラウンドを引締め、運動技能を損う不愉快なぬめり、ベタツキを除きさっと散布するだけで晴天のようなグラウンドコンディションを造りあげます。



輸入販売
株式会社

エンドル

北事務所 大阪市北区伊勢町9番地 TEL (06)364-3149
本社 大阪府守口市東光町3丁目3番地 TEL (06)996-2245(代)

「
フ
キョ
キョ
で紫
顔か
原産
キュ
ンチ
る黄
は、
ます
キュ
たえ
ユウ
える
コウ
コウ
あざ
尾な
して
コウ
餌は
いい
ベニ
ベニ
は全
色も
と同
原産

夢が広がるショッピング…
近鉄がお届けします



近鉄



動物園ニュース

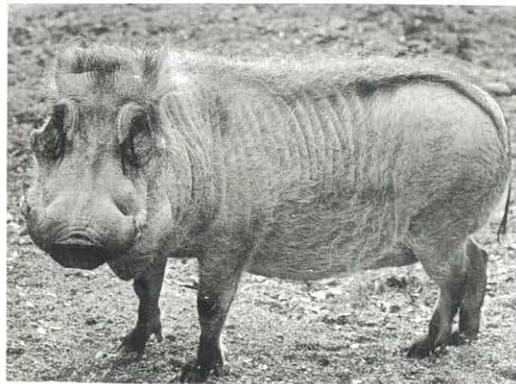
☆シロクマ入園



10月31日にオス1頭、11月16日にメス1頭（共に推定2才）が入園しました。前からいるオス（約9才）とは分けて、別々に部屋に収容しています。オスの方は茶目気たっぷりで、せわしく動き、メスはメスらしく、しとやかで落ち着きがあります。今、見合いをさせていますが、そのうち一緒にさせようと計画中です。

☆ワートホッグの結婚ならず!

ワートホッグは別名イボイノシシとも呼ばれ、高松の栗林公園動物園にオス1頭、本園にメス1頭と、日本全国で2頭しか居ないという貴重な動物のため、一緒にして繁殖させようという計画ができ、12月5日に本園のメスを高松に運ぶ予定でした。ところが11月23日に高松のオスが急死するという不幸がおき、計画は中止されました。これで日本には本園のメス1頭のみとなり、今後とも大切に育てて行きたいと思えます。



☆シカ・ダマシカ舎新設

この度、クマ舎横に建設していたニホンシカ舎とダマシカ舎が完成し、11月15日に移動準備を始め、11月19日移動を完了しました。新しい放飼場はニホンシカの方が270㎡、ダマシカの方が75㎡の広さです。

☆宝塚動物園とニホンシカの交換

本園のニホンシカは近年、近親交配のためか、生まれてくる仔が虚弱で成育が悪いため、かねてより血液更新のために、他園とのニホンシカ交換を計画していましたが、ちょうど宝塚動物園との交換が決定し、本園のオス1頭と宝塚のオス1頭を、11月17日に交換しました。

☆オオミズナギドリの保護

10月31日に1羽保護されて持ち込まれて以来、11月14日までで12羽になりました。ほとんどが幼鳥で、体力が十分ないため墜落して市民の方々に拾われたもので、研究室へ収容して1羽ずつ小アジと栄養剤のさし餌を続けてきました。11月15日、元気が回復して体力のついた9羽を、全日空の御好意で沖縄へ向けて空輸しました。現地の「こどもの国」という動物園で、飛べる力のある鳥から順に放してもらおうように頼んであります。

☆動物と園児たちのクリスマスパーティ

12月22日にめぐみ幼稚園の園児を招待して、動物と一緒にクリスマスのお祝いをします。パーティに参加する動物はオランウータン、チンパンジー、ニホンシカ、カンムリヅルなどです。

☆飼育勉強会誕生

11月23日、12名の飼育係員が集まって「あひるくらぶ」という勉強会が誕生しました。動物と動物園に関する事の勉強ということを設定趣旨としており、今後の活躍を期待しています。

☆お知らせ

◎エトにちなむ「世界のトラのおもちゃ展」

期間：昭和49年1月1日～1月15日

場所：北園冷房ペンギン舎

主催：大阪市天王寺動物園

協賛：大阪市天王寺動物園協会

来年はトラ年ですので、世界11ヶ国172点のトラのおもちゃを展示します。

出品者：寝屋川市池田

吉田平七郎

○エトの動物を祝って、トラ舎にメ縄と鏡もちを供えます。

○正月3ヶ日の入園者(先着200名様)にトラのカラー写真のカレンダーをプレゼントします。

提供：動物愛護会

★12月30・31日は休園します。正月は元旦から開園しています。

なきごえ 昭和48年12月15日発行 (毎月1回15日発行) 第9巻第12号(通巻101号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所 / 株式会社 松村善進堂

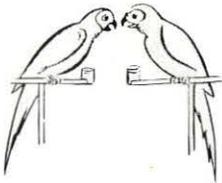
定価100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

振替口座 大阪 37823

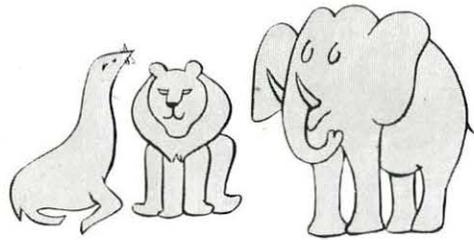
1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

パイン・オレンジ・フルーツカクテル

各140c.c.=60円